

PROGRAM

No. 51

NFAJプログラム
2023年12月発行

蘇ったフィルムたち チネマ・ リトロバート 映画祭

2024

1/5(金)
2/4(日)

【会期中の休館日】月曜日

国立映画アーカイブ

長瀬記念ホール OZU [2階]

定員 310名(各回入替制・全席指定席)

各回の開映後の入場はできません。

【主催】国立映画アーカイブ、チネマカ・デイ、ボローニャ財団、イタリア文化会館



Il Cinema Ritrovato



FILM TREASURES FROM IL CINEMA RITROVATO

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。[上映会番号469]

蘇ったフィルムたち チネマ・リトロバート映画祭

Film Treasures from Il Cinema Ritrovato

古今東西の発掘・復元された映画が披露される場として、世界中の映画ファン、映画批評家、アーキビスト、研究者、地元の人々が集うチネマ・リトロバート映画祭。会場の地であるボローニャは歴史ある大学都市であり、多くの映画人を輩出してきた街でもあります。1986年に国際フィルムアーカイブ連盟 (FIAP) の加盟機関であるチネテカ・ディ・ボローニャ財団 (以下FCB) が本格始動させた本映画祭は、世界中で行われている映画復元の取り組みを紹介する一大拠点としての役割を果たしています。また、FCBが1992年に設立した映画の修復ラボ「リマジネ・リトロバータ」は、復元作業のみならず各種ワークショップなどを通じて人材育成も積極的に行い、フィルム修復を専門とする世界で最も重要なラボの一つとなりました。

国立映画アーカイブ、FCB、イタリア文化会館が三者共同で開催する「蘇ったフィルムたち チネマ・リトロバート映画祭」では、長い歴史を誇る同映画祭にこれまで出品された発掘・復元作の中から、25プログラム (54本) を上映します。「ネオレアリズモ」の系譜に連なる名作群だけでなく、それらと共鳴するようなチェチリア・マンジーニやサラ・マルドロールなどによる女性の視点から描いた力強い作品群などをご覧いただくことで、映画保存や映画復元の意義を再認識する機会となれば幸いです。蘇ったフィルムたちを大スクリーンで再発見できる貴重な機会に、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

- 監修・演出 ④=原作・原案 ⑤=脚本・脚色
- ⑥=撮影 ⑦=美術 ⑧=音楽 ⑨=出演
- ⑩=解説・ナレーション
- 「グランド・ツアー イタリア紀行・短篇集」、『マハゴニー (フィルム #18)』以外のすべての外国語映画に日本語字幕が付いています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- ★印の回は講演等のイベントがございます。



サタン狂想曲

Courtesy of Cineteca di Bologna



フィリバス

From the collection of Eye Filmmuseum

観客のみなさまへ

世界でも有数の豊かな映画史と映画の「美」を築き上げてきた日本の皆様にとりわけ映画の保存や修復、映画に関する知見を有し、国際的に卓越した拠点の一つとして知られる国立映画アーカイブにおいて、当財団による映画復元の成果をご紹介させていただきます。たいへん光栄です。

ジャン・ルカ・ファリネッリ
チネテカ・ディ・ボローニャ財団 ディレクター

1/5(金)15:00 1/9(水)18:00★ 1/17(木)15:00

サイレント短篇集

FCBが近年、単独ないしは国外の映画保存機関と共同で修復したサイレント短篇集。

『スタッキー クランクの回転』は、ヴェネツィアの「製粉王」の息子でゴーモンの小型カメラを手にしたジャンカルロ・スタッキー (1881-1941) が、自身のクランクを回す動きを真似る二人の少女を捉えた魅惑的なホームムービー。『花の妖精』では、ルイ15世の愛妾ジャンヌ=アントワネット・ポワソンに扮した女性が、手彩色を施された色鮮やかな花の中から登場する。『シチリアの荷馬車作り』は、極彩色と派手な装飾で知られるシチリア伝統の荷馬車の制作工程を記録している。『ボローニャの史跡巡り』では、世界遺産のポルティコ群 (柱廊玄関) など、現在もその姿を留める歴史的建造物が紹介される。『赤とピンクのカーネーションを持つ女性』は、最初期のカラーシステムであるキネマカラーのテストフィルム。『骸骨』は、肉体を失い骸骨となった男の自己愛を滑稽に表現した初期映画。『アルメニア、文明の揺りかご アララト山周辺の悲劇』は、アルメニア・トルコ戦争 (1920) 前後に撮影された歴史的な記録映像。『トントリーニの悲しみ』では、イタリア無声映画の喜劇王フェルディナン・ギョーム扮するトントリーニが、失恋の慰めに見た映画の中で自身の分身 (ポリドール) と出会う。フェデリコ・フェリーニは『カピリアの夜』 (1957) や『甘い生活』 (1960) で彼を起用し、往年の喜劇スターに敬意を表した。『オランダの頭巾とその種類』は、オランダの伝統的な帽子をかぶった女性達が、色鮮やかな衣装や装飾品によってひとざわ輝いている。『テムズ河畔 オックスフォードからウィンザーまで』は、船上のカメラが捉えた緑豊かなテムズ河畔の光景が目を楽しめる。『バーテルス姉妹』では、バーテルス姉妹が繰り広げる優雅なアクロバット芸が目を楽しませてくれる。本短篇集を締め括る『お花で、さよなら!』では、コマ撮りアニメーションによって花々が「BUONÀ SERA!」の文字を形作る。

スタッキー クランクの回転

(1分・DCP・無声・白黒)

Stucky: Giri di Manovella

1900 (伊) ④ジャンカルロ・スタッキー

花の妖精 (2分・DCP・無声・ステンシルカラー)

La Fée aux Fleurs

1905 (仏: パテ) ④ガストン・ヴェル

シチリアの荷馬車作り (4分・DCP・無声・染色)

Fabrication des Charrettes Siciliennes

1912 (仏: パテ)

ボローニャの史跡巡り (5分・DCP・無声・白黒)

Bologna Monumentale

1912 (伊: ラティウム)

赤とピンクのカーネーションを持つ女性

(1分・DCP・無声・キネマカラー)

Donna con Garofani Rossi e Rosa

1912頃 (伊) ④ルカ・コメリオ

骸骨 (1分・DCP・無声・染色)

Lo Scheletro

製作年不詳 (伊)

アルメニア、文明の揺りかご アララト山周辺の悲劇 (3分・DCP・無声・白黒)

Armenia, the Cradle of Humanity under the Shadow of Mount Ararat

1919-1923 (不詳)

トントリーニの悲しみ (7分・DCP・無声・白黒)

Tontolini è Triste

1911 (伊: チネス) ④フェルディナン・ギョーム

オランダの頭巾とその種類 (4分・DCP・無声・ステンシルカラー)

Coiffures et Types de Hollande

1910 (仏: パテ)

テムズ河畔 オックスフォードからウィンザーまで (5分・DCP・無声・ステンシルカラー)

Les Bords de la Tamise d'Oxford à Windsor

1914 (仏: エクレクティック・フィルム)

バーテルス姉妹 (5分・DCP・無声・白黒)

Le Sorelle Bartels

1910 (伊: チネス)

お花で、さよなら! (1分・DCP・無声・白黒)

Buona Sera, Fiori!

1909 (伊: アンプロジジョ) ④マリー・クレオ・タルラリーニ

サタン狂想曲 (43分・DCP・無声・染色/調色/ステンシルカラー)

Rapsodia Satanica

悪魔と契約を結んだ上流社会の老婦人が、束の間の若さを手に入れる代わりに恋愛を禁じられる。文学 (ファウストの伝承)、絵画 (象徴主義やラファエル前派)、建築 (アール・ヌーヴォー)、音楽 (ビエトロ・マスカーニによる映画伴奏用のオリジナル楽曲) などの諸芸術を総合したイタリア無声映画の傑作。ディーバ女優のリダ・ポレリが悲劇のヒロインを演じた。2015年にシネマテーク・スイスが所蔵する可燃性ポジ等をもとにデジタル修復された。本作のみ伴奏音楽を収録したDCPでの上映。

1917 (伊: チネス) ④ニーノ・オシーリア ⑤アルベルト・ファウスト ⑥ファウスト・マリア・マルティニ ⑦ジョルジオ・リッチ ⑧リダ・ポレリ、アンドレア・ハベイ、ウーゴ・バジジャーニ、ジョバンニ・チニ

★印の回は上映後に小松弘氏 (早稲田大学文学学術院教授) と古賀太氏 (日本大学芸術学部映画学科教授) による対談 (約40分) があります。

2 1/14(日)12:30★

グランド・ツアー イタリア紀行・短篇集

(計70分・DCP・無声・白黒/染色/調色)

Grand Tour

1908-1912年にイタリア全土で撮影されたFCB所蔵のホームムービー等を集めた特別プログラム。「イタリアへの旅 美しいイタリア、観光の誕生」、「イタリアでの仕事」、「出来事・悲劇」、「街」、「到着!」の5章からなる。

ジャン・ルカ・ファリネッリ氏 (FCBディレクター) による上映前解説 (約10分) と上映中の実況解説 (逐次通訳付き) を行います。

3 1/5(金)19:00 1/11(木)15:00 1/20(土)13:00

フィリバス (71分・DCP・無声・白黒/染色)

Filibus

飛行船で空から舞い降り、大胆な強盗を繰り広げる謎の空賊 (クレティ) に対し、探偵はその正体を明らかにしようと奮闘する。異性装の主人公「フィリバス」の存在に、SFと探偵スリラーの要素を取り入れてスピーディーに展開する冒険映画。アイ・フィルムミュージアム (蘭) が所蔵する可燃性ポジをもとに、2018-2019年にかけてデジタル修復された。伴奏音楽を収録したDCPでの上映。

1915 (伊: コロナ・フィルム) ④マリオ・ロンコロニ ⑤ジョヴァンニ・ベルティネッティ ⑥ルイージ・フィオリオ ⑦ヴァレリア・クレティ、ジョヴァンニ・スバーノ、クリスティーナ・ラスポリ、マリオ・マリアーニ、フィリッポ・ヴァリーノ



無防備都市

© Cinecittà Luce, CSC - Cineteca Nazionale, Cineteca Di Bologna and Coproduction Office

4 1/30(火)19:00★

狂った一頁 [染色版]

(79分・35mm・18fps・無声・染色)

衣笠貞之助が川端康成ら『文芸時代』の同人に協力を仰いで製作した無字幕のアヴァンギャルド映画。1971年に衣笠邸で35mm可燃性青染色ボジが発見されたが、同年に複製された「サウンド版」をはじめ、近年まで白黒版として復元されてきた。当館がチネマ・リトロバート映画祭2023に出品した染色版(2022年度作製)は、映画祭参加者による閉幕後の人気投票において470作品中、第4位を獲得した。

1926(日)新感覚派映画聯盟/ナショナルアートフィルム社) (伊)衣笠貞之助 (英)川端康成 (英)大塚稔、沢田暁紅 (英)杉山公平 (英)林華作、尾崎千葉 (英)井上正夫、中川芳江、飯島綾子、根本弘、関塚、高勢実

上映後に復元作業を担った野原あかね氏 (IMAGICAエンタテインメントメディアサービス)によるトーク(約20分)があります。

5 1/10(水)19:00 1/23(火)15:00 1/31(木)15:00

ハーレムの殺人 (96分・DCP・白黒)

Murder in Harlem

白人女性を殺害したとして黒人夜警が逮捕された事件の真相究明を描く探偵映画。先駆的黒人監督オスカー・ミショーが、黒人が冤罪になった実話に着想を得た自作『The Gunsaulus Mystery』(1921)をリメイクした。黒人専用劇場向けの人種映画の一篇で、南メソジスト大学タイラー・コレクションの可燃性ボジをもとに、2021年にジョージ・イーストマン博物館(米)とFCBが共同でデジタル修復を行った。

1935(米: ミショー・ピクチャーズ) (英)オスカー・ミショー (英)チャールズ・レヴァイン (英)トニー・コンティネリ (英)クラレンス・ウィリアムズ (英)クラレンス・ブルックス、ドロシー・ヴァン・エンゲル、アンドリュー・ビショップ、アレック・ラヴジョイ、ローラ・ボウマン

6 1/6(土)16:10 1/17(水)19:00

無防備都市 (99分・DCP・白黒)

Roma Città Aperta

第二次世界大戦末期、ナチス・ドイツ占領下のローマにおけるレジスタンス運動を描いた「ネオレアリズモ」の代表的作品。純粋なリアリズム映画として評価される一方、ハリウッド映画を想起させるメロドラマ的な物語構造や、悲劇的結末と不可分にある喜劇的場面など、異質な要素の絡み合う多義的な側面にも近年新たな眼差しが注がれている。チネテカ・ナツィオナーレ(伊)が所蔵するオリジナルネガをもとに作製された本修復版は、2013年のチネマ・リトロバート映画祭でプレミア上映された。

1945(伊: エクセルサ・フィルム) (英)ロベルト・ロッセリーニ (英)セルジオ・アマデーオ (英)フェデリコ・フェリーニ (英)バルド・アラータ (英)ロサリオ・メグナ (英)レンツォ・ロッセリーニ (英)アンナ・マニャーニ、アルド・ファブリーツィ、マルチェロ・パリエロ、マリア・ミーキ、フランチェスコ・グランジャック、ハリー・フェイス、ヴィト・アニチアリコ

7 1/13(土)12:30★ 1/30(火)15:00

カルプナー (153分・DCP・白黒)

कल्पना (Kalpana)

インド舞踊の歴史で中心的存在であるウダイ・シャンカルが4年の歳月をかけて完成させた自伝的作品。伝統芸術に新たな息吹を吹き込もうと奮闘する青年の物語を中心に、独立直後のインドのポストコロニアルな想像力が超現実的な映像表現のうちに解き放たれる。世界映画基金(以下WCF)の協力を得て、2012年にインド国立フィルム・アーカイブが所蔵するデュープネガとボジをもとにFCBがデジタル修復を行った。「カルプナー」とはヒンディー語で想像、空想を意味する。

1948(印: ジェミニ・スタジオ) (英)製作 (英)原付 (英)ウダイ・シャンカル (英)アムリトラー・ナーガル (英)K・ラムナート (英)A・K・セーカル (英)ヴィシュヌダース・シラーリ (英)アムラー・ウダイ・シャンカル (英)ラクシュミー・カーンター、ピレンドラ・パネルジー、ウシャー・キラン

★印の回は上映後にチェチリア・チェンチャレリ氏(FCBディレクター)による講演(約60分/逐次通訳付き)を行います。

8 1/7(日)12:30 1/12(金)15:00

自転車泥棒 (90分・DCP・白黒)

Ladri di Biciclette

映画批評家アンドレ・バザンに「もはや俳優も、物語も、演出も存在しない」と評された「ネオレアリズモ」を代表する作品。ローマの広場や通りでロケ撮影を敢行するとともに、犯人探しをする父と子に素人の俳優を起用して、貧困にあえぐ戦後イタリア社会の現実を浮き彫りにした。2018年に作製された新修復版により、匿名の人々による日常生活の営みが一層深く印象づけられるようになった。

1948(伊: デ・シーカ・プロダクション) (英)ヴィットリオ・デ・シーカ (英)ルイジ・バルトリニ (英)チェーザレ・ザヴァッティニ (英)オレステ・ピアンコリ、スーゾ・ダミコ、アドルフ・フランツ、ゲラルド・ゲラルディ、ジェラルド・グエリエリ (英)カルロ・モンテウオリ (英)アントニオ・トラヴェルソ (英)アレサントロ・チコニーニ (英)ランベルト・マジョラーニ、エンツォ・スタイオーラ、リアネーラ・カレル、ジーノ・サルタマンダ

9 1/9(火)15:00 1/14(日)15:00★ 1/19(金)14:30

ヴィットリオ・デ・セータ作品集

工業化によって失われつつあるシチリアやサルディニアなど南イタリアの伝統や労働をラディカルな手法で捉えたヴィットリオ・デ・セータ(1923-2011)による1954年から59年までのドキュメンタリー10作品。大胆な構図やリズムカルな編集によって捉えられた村の労働が、現地で録音したダイナミックな音声とともに展開される。マーティン・スコセッシが設立したフィルム・ファウンデーション(以下FF)とFCBが2019年に共同でデジタル修復を行った。

メカジキの時機 (11分・DCP・カラー)

Lu Tempu di li Pesci Spata

1954(伊) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

火の島々 (11分・DCP・カラー)

Isole di Fuoco

1954(伊: レポートフィルム) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

硫黄の山 (11分・DCP・カラー)

Surfarara: Miniera di Zolfo

1955(伊) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

シチリアの復活祭 (10分・DCP・カラー)

Pasqua in Sicilia

1955(伊) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

海上の農民 (11分・DCP・カラー)

Contadini del Mare

1955(伊: アストラ・シネマトグラフィカ) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

黄金の放物線 (10分・DCP・カラー)

Parabola D'oro

1955(伊: アストラ・シネマトグラフィカ) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

漁船の群れ (11分・DCP・カラー)

Pescherecci

1958(伊) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

オルゴゾーロの羊飼 (11分・DCP・カラー)

Pastori di Orgosolo

1958(伊: レ・プレアディ) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

バルバージャの一日 (11分・DCP・カラー)

Un Giorno in Barbagia

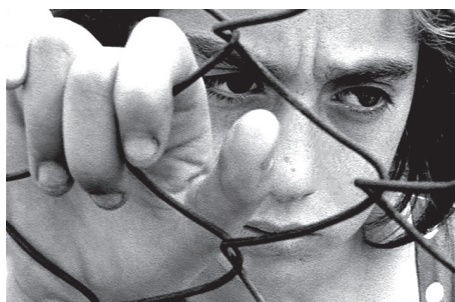
1958(伊: レ・プレアディ) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

忘れ去られた人々 (21分・DCP・カラー)

I Dimenticati

1959(伊) (英)ヴィットリオ・デ・セータ

★印の回は上映後にジャン・ルカ・ファリネリ氏(FCBディレクター)による講演(約60分/逐次通訳付き)を行います。



女性として生きること

Courtesy Cineteca di Bologna

10 1/23(火)19:00 1/25(木)15:00

風と共に散る (99分・DCP・カラー)

Written on the Wind

石油富豪の邸を舞台に四人の男女の愛情と欲望が錯綜する。メロドラマの形で社会批評を行ったダグラス・サークは、閉塞感さえ漂う豪華なセットと映画的表现を最大限に活かした演出によって、アメリカの経済的繁栄の裏にある深い闇を抉り出す。2022年にクライテリオンがアカデミー・フィルム・アーカイブ(米)所蔵のオリジナルネガ(画)とボジ(画)および音ネガの元素材である磁気テープをもとにデジタル修復した。

1956(米: ユニバーサル・インターナショナル・ピクチャーズ) (英)ダグラス・サーク (英)ロバート・ワイルダー (英)ジョージ・ザッカーマン (英)ラッセル・メティ (英)アレクサンダー・ゴリツェン、ロバート・クラウトワーシー (英)フランク・スキナー (英)ロック・ハドソン、ローレン・バコール、ロバート・スタック、ドロシー・マローン

11 1/26(金)19:00 1/27(土)13:00

吸血鬼 (78分・35mm・白黒)

I Vampiri

血液を抜かれた女性の死体が相次いで発見され、新聞記者のランタン(ミカエリス)は「吸血鬼」と称される殺人犯を追跡する。ハマー・フィルムのドラキュラシリーズに先駆けて公開されたトーキー以降のイタリア初の本格的ホラー。途中降板したりカルド・フレダに代わり、本作で撮影を担当し、後に『血ぬられた墓標』(1960)などでイタリアン・ホラーの黄金時代を築いたマリオ・パヴァーが完成させた。

1957(伊: ティタヌス/アテナ・シネマトグラフィカ) (英)リカルド・フレダ (英)ピエロ・レニョーリ、ライク・シーストロム (英)マリオ・パヴァー (英)ベネ・モントレゾール (英)ロマン・ヴラド (英)ダリオ・ミカエリス、ジャンナ・マリア・カナーレ、カルロ・ダンジェロ、アントワーヌ・バルベトレ

12 1/10(水)15:00 2/2(金)19:00

チェチリア・マンジーニ作品集

ピエル・パオロ・パゾリーニの小説家としてのデビュー作『生命ある若者』(1955)に触発されて製作した『都会の名もなき者たち』以降、イタリア映画界で最も開放的で勇氣ある女性ドキュメンタリー作家となったチェチリア・マンジーニ(1927-2021)。プーリア地方に伝わる庶民の葬送儀礼における「泣き女」たちの身体技法と歌唱を記録した『ステンダリ 鐘はまだ鳴っている』、ローマ郊外の湿地帯マラーネの川辺で水遊びに興じる子供たちの姿を捉えた『マラーネの歌』、女性モデルを起用した企業広告が約束するウェルビーイングな世界とは対照的に、工場労働に従事する女性たちの抑圧された立場を告発した『女性として生きること』、イタリアの港湾都市プリンディジの労働者階級の限界と夢を描き出した『トンマーゾ』を通して、ネオレアリズモに薫陶を受けたドキュメンタリー作家のキャリアを振り返る。

都会の名もなき者たち (11分・DCP・カラー)

Ignoti alla Città

1958(伊) (英)チェチリア・マンジーニ (英)マリオ・ヴォルピ (英)マッシモ・ブラデッラ

ステンダリ 鐘はまだ鳴っている

(11分・DCP・カラー)

Stendali: Suonano ancora

1960(伊: ヴェツテ・フィルム・イタリア) (英)チェチリア・マンジーニ (英)ジュゼッペ・デ・ミトリ (英)エギスト・マッキ (英)リナ・プリニョネ

マラーネの歌 (11分・DCP・カラー)

La Cantata delle Marane

1962(伊: ドキュメント・フィルム) (英)チェチリア・マンジーニ (英)ピエル・パオロ・パゾリーニ (英)ジュゼッペ・デ・ミトリ (英)エギスト・マッキ

女性として生きること

(29分・DCP・パートカラー)

Essere Donne

1965(伊: ユニテレフィルム) (英)チェチリア・マンジーニ (英)フェリーチェ・キアンティ (英)ルチアノー・グラフィニャ (英)エギスト・マッキ

トンマーゾ (11分・DCP・白黒)

Tommaso

1965(伊) (英)チェチリア・マンジーニ (英)ジュゼッペ・ピノリ (英)エギスト・マッキ

13 1/21(日)13:00 1/31(水)19:00

時は止まりぬ (87分・DCP・白黒)

Il Tempo si è Fermato

雪深い山の上の閉ざされた小屋で、冬の間ダム建設現場の監視員として暮らす世代の異なる二人の男の心の触れ合いを描く。エディソン・ヴォルタ社時代に手がけた水力発電ダム建設の記録映画をオルミ自ら発展させた、初の長篇劇映画。登場人物を情感とともに丁寧に観察する眼差しはその後の監督作品にも通じる。FCBとティタヌスが2021年に行ったデジタル修復により、息をのむような美しい白銀世界が蘇った。

1958(伊:エディソン・ヴォルタ) 監・オルミ 配・カルロ・ベロロ 音・ピア・エミリオ・パッシ 音・ナターレ・ロッシ、ロベルト・セヴェッソ、パオロ・クアドラビ

14 1/26(金)15:00 1/28(日)13:00

街の中の地獄 (92分・35mm・白黒)

Nella Città L'Inferno

イザ・マリーが自身の体験をもとに書いた小説を『自転車泥棒』、『白夜』(1957、ルキノ・ヴィスコンティ)などの脚本を手がけたスーゾ・チェッキ・ダミーコが脚色。ローマのマンテラーテ街にある女子刑務所を舞台に、世の中から見放された者たちが絶望感と諦念に満ちていく様子をアンナ・マニャーニとジュリエッタ・マシーナが熱演する。ディレクターズ・カットを加えたチネテカ・ナツィオナーレ所蔵の再編集版を上映。

1959(伊/仏:リアマ・フィルム/フランシネックス) 監・レナート・カステラーニ 配・イザ・マリー、スーゾ・チェッキ・ダミーコ、レオニーダ・バルボニ 音・オットヴィオ・スコッティ 音・ロマン・ヴラド 音・アンナ・マニャーニ、ジュリエッタ・マシーナ、クリスティーナ・ガヨーニ

15 1/16(水)14:30 1/20(土)16:00

シシリーの黒い霧 (123分・DCP・白黒)

Salvatore Giuliano

1950年代末から1960年代初めのイタリアにおいて、第二次世界大戦中のレジスタンス運動を多面的な観点から捉え直した「第二のネオレアリズモ」を代表する一篇。実在したシチリアの山賊サルヴァトーレ・ジュリアーノの謎の死を契機にして、山賊、マフィア、警察間の隠れたつながりが暴かれていく。2013年にFCBとFFによって共同でデジタル修復された。

1962(伊:ラックス・フィルム/ヴィデス・シネマトグラフィカ/ガラテア・フィルム) 監・フランチェスコ・ロージ 音・スーゾ・チェッキ・ダミーコ、エンツォ・プロヴェンツァーレ、フランコ・ソリナス 監・ジャンニ・ディ・ヴェナツォ 音・セルジオ・カネヴァリ、カルロ・エキティ 音・ピエロ・ピッチオーニ 音・フランク・ウォルフ、サルヴォ・ランドーネ、フェデリコ・ザルディ、ピエトロ・カンマラータ

16 1/18(木)19:00 1/21(日)16:00

猿女 (116分・DCP・白黒)

La Donna Scimmia

アントニオ(トニャッツィ)は全身が毛で覆われたマリア(ジラルド)と知り合い、彼女を見世物にする興行を始める。『最後の晩餐』(1973)などで知られる奇才マルコ・フェレーリが、19世紀に実在した多毛症のメキシコ女性から着想を得て描くラブストーリー。2017年にFCB、TF1スタジオ、サーフ・フィルムが三者共同で修復し、本特集で上映するDCPにはイタリア公開版の後、ディレクターズ・カット版、フランス公開版のエンディングが続く。

1964(伊/仏:コンパニア・シネマトグラフィカ・チャンピオン/レ・フィルム・マルソー・コシノール) 監・マルコ・フェレーリ 音・ラファエル・アスコナ 音・アルド・トンティ 音・マリオ・ガルブリア 音・テオ・ウスエリー 音・ウーゴ・トニャッツィ、アニー・ジラルド



街の中の地獄

17 1/27(土)16:00★ 2/2(金)15:00

サンティアゴへ行こう (16分・DCP・白黒)

Iré a Santiago

ジャーナリストを経てキューバ国立映画芸術産業庁(ICAIC)に入り、アニメス・ヴァルダ『キューバのみなさん、こんにちは』(1963)の助監督を務めたのちキューバ初の女性映画監督となったサラ・ゴメスの初期作。キューバ南東部サンティアゴ・デ・クーバの人々の生活風景から、継承される文化と歴史的背景を浮かび上がらせる。ICAICが所蔵する現存唯一の35mmプリントをもとにクイーンズ大学(加)がデジタル修復を行った。

1964(キューバ:ICAIC) 監・サラ・ゴメス 音・マリオ・ガルシア・ホジャ

ある方法で (74分・DCP・白黒)

De Cierta Manera

キューバ革命をめぐる異なる思想を持つ男女の物語を通して、植民地支配からの脱却と人種、階級差別からの解放を訴える。サラ・ゴメス初の長篇でありドキュメンタリーとフィクションを混合させた野心作。ゴメスは編集集中に急死し、その後、脚本にも協力したトマス・グティエレス・アレアとフリオ=ガルシア・エスピノサによって完成され、キューバ国内で1977年に公開された。

1974(キューバ:ICAIC) 監・サラ・ゴメス・イェラ 音・トマス・ゴンザレス・ペレス 音・ルイス・ガルシア 音・ロベルト・ララビュール 音・セルヒオ・ピティエール 音・マリオ・バルマセダ、ヨランダ・クエジャール、マリオ・リモンタ、イサウラ・メンドーサ、ホビー・カルカセス

★印の回は上映後に濱治佳氏(山形国際ドキュメンタリー映画祭)と当館研究員による対談(約30分)があります。

18 1/13(土)17:00★ 1/18(木)15:00

私は彼女をよく知っていた (116分・DCP・白黒)

Io la Conoscevo bene

戦後イタリアの奇跡的な経済成長下における利率的で享楽的な日常を描いた「ブームのコメディ」(1958-1964)の典型とも言える傑作。ネオレアリズモの先駆的作品『郵便配達は二度ベルを鳴らす』(1943、ルキノ・ヴィスコンティ)などで脚本を手がけたピエトランジェリが、トスカーナの貧しい村からローマへ出てきて、ショービジネスの世界で破滅していく女性の姿を描く。2015年にクライテリオン、FCB、ティタヌスが三者共同でオリジナルネガをもとにデジタル修復を行った。

1965(伊/仏/独:ウルトラ・フィルム/レ・フィルム・デュ・シエクル/ロキシー・フィルム) 監・アントニオ・ピエトランジェリ 音・ルッジエーロ・マッカリ、エットーレ・スコラ 音・アルマン・ナヌツィ 音・マウリツィオ・キアーリ 音・ピエロ・ピッチオーニ 音・ステファニア・サンドレリ、ニーノ・マンフレディ、ウーゴ・トニャッツィ、ロバート・ホフマン、ジャン=クロード・プリアリ

★印の回は上映後に岡田温司氏(京都精華大学教授、京都大学名誉教授)による講演(約60分)があります。



時は止まりぬ



ブッシュマン あるナイジェリア人青年の冒険

Courtesy of Milestone Films and Kino Lorber

19 1/25(木)18:30 2/4(日)12:30

マハゴニー(フィルム#18) (148分・DCP・カラー)

Mahagony (FILM#18)

映像作家、音楽学者、蒐集家など多岐にわたる活動によってポップ・ディランなど、多くの芸術家に影響を与えてきたハリー・スミス(1923-1991)がマルセル・デュシャンの通称「大ガラス」を数学的に分析して制作した大作。2人の映写技師が4台の16mm映写機を駆使して、プレヒトとクルト・ヴァイルによるオペラ「マハゴニー市の興亡」の音声と同期させながら、スクリーン上に4画面を同時投影するパフォーマンスが行われていた。1980年以降、長らく上映の機会がなかったが、2002年にハリー・スミス・アーカイブス(米)とアンソロジー・フィルム・アーカイブス(米)によってデジタル修復された。

1970-1980(米) 監・ハリー・スミス 音・バトリック・ハルシー 音・クルト・ヴァイル 音・アレン・ギンズバーグ、ジョナス・メカス、パティ・スミス

20 1/11(木)19:00 2/4(日)16:00

ブッシュマン あるナイジェリア人青年の冒険 (74分・DCP・白黒)

Bushman

1968年、内戦の続くナイジェリアからサンフランシスコへやって来た青年ガブリエル(オクボカム)は、米国の黒人たちの生活を目の当たりにし、人種問題や政治の動向に翻弄されていく。独立後のナイジェリアを映し出したドキュメンタリー『Give Me a Riddle』(1965)のデイヴィッド・シッケルによる長篇第1作。主演俳優の国外追放など製作時の状況を反映したドキュメンタリードラマとして完成され、シカゴ国際映画祭で最優秀長篇作品賞を受賞した。2022年にパークレー美術館・太平洋フィルムアーカイブ(BAMPFA)とFFによってデジタル修復された。

1971(米:ブッシュマン・カンパニー/アメリカン・フィルム・インスティテュート) 監・デイヴィッド・シッケル 音・デイヴィッド・マイヤーズ 音・ポール・エヤム・ジー・オクボカム、マイク・スライ、エレイン・ファザーストーン、ロザリオ・ロソ、ジャック・ナンス

21 1/7(日)16:10 1/19(金)18:50 2/1(木)15:00

サンビザンガ (98分・DCP・カラー)

Sambizanga

『アルジェの戦い』(1966)で助監督を務めたサラ・マルドローラが不可視になりがちな女性の視点からアンゴラでの独立運動を描いた初長篇劇映画。1961年、ポルトガル植民地政府への反逆の疑いで投獄された夫を見つけ出すため、マリア(アンドラーデ)は赤子を抱えて探し続ける。WCFが行うアフリカ映画の発掘、所在確認、復元を推進するプロジェクトの一環として、2021年にFCBがオリジナルネガをもとにデジタル修復を行った。

1973(アンゴラ/仏:イザベル・フィルムズ) 監・サラ・マルドローラ 音・ルアンディエーノ・ヴィエイラ 音・マリオ・テ・アンドラーデ、モリス・ボンズ 音・クロード・アグスティエーニ 音・エリサ・アンドラーデ、ドミンゴス・テ・オリヴェイラ、ジーン・ムヴォンド、アデーロ・ネランバ



私は彼女をよく知っていた

22 1/6(土)12:30 1/16(火)18:00

異人と霧(146分・DCP・カラー)

عرس و مه (Gharibeh Va Meh)

記憶を失った状態で漂着した男は村の未亡人と恋に落ちるが、後に男を追うように上陸する集団の襲撃によって村は混迷を極める。公開当時、難解と評された本作だが、5年後に起こるイラン革命を予兆するような映像と円環構造で綴る寓話的野心作。「イラン・ニューウェーブ」を代表する監督の一人であるバハラム・ベイザイは、劇中の主要なイメージは自身が見た悪夢から着想を得たという。WCFとFCBがベイザイ監督の協力を得て2023年にデジタル修復した版を上映。1974(イラン: レックス・シネマ・シアター・カンパニー) 編集バハラム・ベイザイ 編集メルダッド・ファヒミ、フィルズ・マレクザデヒ 編集イラジュ・ラミンファル 編集バルヴァナ・マサーミ、ホスロー・シュグズダ、マヌチェル・ファリド

23 1/12(金)19:00 1/24(水)15:00 2/1(木)19:00

私は時々ハワイを想う(85分・DCP・カラー)

Ich Denke oft an Hawaii

プエルトリコ出身の米軍兵だった父親に思いを馳せつつ、シングルマザーの母と弟とベルリン郊外の団地で暮らす16歳カメルの日常を描いたセミドキュメンタリー。1970年代初頭からヴェルナー・シュレターやローザ・フォン・ブ라운ハイムなどの撮影監督を務めたエルフィ・ミケシュによる監督作。ベルリン・ドイツ映画テレビ・アカデミー (DFFB)とドイツ・キネマテークがミケシュに監修を依頼し、オリジナルの16mmコダクロームフィルムをもとに共同でデジタル修復した。

1978(西独: オー・ムーヴィー・フィルム/ ZDF) 編集エルフィ・ミケシュ 編集エルフィ・ティラック 編集カメル・ロツェル、ルース・ロツェル、ティト・ロツェル

青の隔たり(24分・DCP・白黒)

Die Blaue Distanz

夜行列車に乗る女性に画家ウニカ・チュルンによるテキストのモノログが重ね合わされる幻想的な短篇。狭いコンパートメントの中を軽やかなフレミングで捉えた官能的な映像と、車窓から入り込む夜の光を活かした照明のもとでミケシュのカメラワークが冴える。ミケシュの監修のもと、ドイツ・キネマテークによってオリジナルネガからデジタル修復された。

1983(西独: オー・ムーヴィー・フィルム) 編集エルフィ・ミケシュ 編集ウニカ・チュルン 編集フリッツ・ミケシュ 編集ジルク・グロスマン

24 1/24(水)19:00 1/28(日)16:00

セシル・ドキュジス作品集

『勝手にしやがれ』(1960、ジャン=リュック・ゴダール)で映画編集に革命をもたらした、ヌーヴェル・ヴァーグの一翼を担う編集技師として活躍したセシル・ドキュジス(1934-2017)。理想と現実の狭間で揺れる男女の心の機微を軽妙なタッチで描いた『イタリアへの旅』、ドキュジス自身が9本の作品に編集技師として携わったエリック・ロメールの作品と似て非なる『失われた夜』、独立直後のチュニジアの難民問題を取り上げた『難民たち Les Réfugiés』(1957、ヘディ・ベン・カリファと共同監督)に新たな解釈を加えた『パンの配給』を通して、映画監督としてのドキュジスのキャリアに光を当てる。シネマテーク・フランセーズ所蔵DCPを上映。

イタリアへの旅(34分・DCP・カラー)

Italie Aller Retour

1984(仏: マジック・フィルム) 編集セシル・ドキュジス 編集オリヴィエ・ゲノー 編集クリスチャン・エメリー 編集ミシェル・オーゼビー 編集アンヌ・ド・フローカ、パトリック・カール

失われた夜(25分・DCP・白黒)

Une Soirée Perdue

1985(仏: マジック・フィルム/ GREC) 編集セシル・ドキュジス 編集フランソワ・ド・ラ・パテリエール、ピエール・イストナードン 編集クリスチャン・エメリー 編集ミシェル・オーゼビー 編集マリー・ビュネル、ジェフリー・ローレンス・キャリー

パンの配給(14分・DCP・白黒)

La Distribution de Pain

2011(仏) 編集セシル・ドキュジス

『ムービー・オーギー』特別上映

特別上映のため入場料は無料です。電子チケットは、上映前日の2月2日(金)12:00からの取り扱い開始となります。窓口では開映1時間前から5分前までチケット(若干数)をお求めいただけます。

25 2/3(土)13:00★

ムービー・オーギー

(282分・DCP・白黒/カラー)

The Movie Orgy

ジョー・ダンテがフィラデルフィア・カレッジ・オブ・アート在学中に友人のジョン・デイヴィソンとともに行っていた上映活動をベースにしたフッテージ集。シーズン・ソングの『《キャンプ》についてのノート』の影響下に、1930-1960年代のB級映画、産業映画、TV番組、コマーシャルなどをつなぎ合わせ、ダンテが子供の頃から親しんでいたTVのザッピング視聴や映画館のマチネーを再現している。もともと学内上映で評判となり、1970年にはロックコンサートの殿堂として知られるマンハッタン・フィルモア・イーストで上映。2022年にアメリカン・ジャンル・フィルム・アーカイブ (AGFA)によってデジタル修復された。

1966-2009(米) 編集ジョー・ダンテ、ジョン・デイヴィソン

途中で休憩時間(約15分)を設けます。

上映後に藤井仁子氏(早稲田大学文学学術院教授)によるトーク(約30分)があります。



ムービー・オーギー



サンビザンガ

Courtesy Cineteca di Bologna



マハゴニー(フィルム#18)

©Anthology Film Archives and Harry Smith Archives



私は時々ハワイを想う

Stiftung Deutsche Kinemathek

展示室(7階)

【企画展】

常設展「NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史」も併設されています。

和田誠 映画の仕事

Makoto Wada: Works on Film

2023年12月12日(火)ー2024年3月24日(日)

* 月曜日および12月26日(火)ー1月4日(木)は休室

主催: 国立映画アーカイブ

協力: 和田誠事務所、多摩美術大学アートアーカイブセンター

イラストレーター、デザイナーの和田誠が手がけた挿画や著書、収集した映画ポスター、そして監督を務めた映画作品などから、和田と映画の深い結びつきに光を当てます。

開室時間=11:00-18:30(入室は18:00まで)

料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円)/大学生130円(60円) / 65歳以上、高校生以下および18歳未満、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)は無料

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、65歳以上、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。

* 当館が主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

* 詳細は本展のチラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

常設展ギャラリートーク

原則として毎月第一土曜日

1月6日、2月3日、3月2日

* 詳細はホームページをご覧ください。

NFAJニューズレター第23号 ご案内

- 「過去・現在・未来のチネテカ・ディ・ボローニャ」
ジャン・ルカ・ファリネッリ(翻訳: 小川佐和子)
- 「開かれたネオリアリズム」
岡田温司

1階窓口にて販売中 320円(税込み)

fiaf

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。

FIAFは文化遺産としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



異人と霧

Courtesy of Cineteca di Bologna

蘇ったフィルムたち チネマ・リトロバート映画祭

Film Treasures from Il Cinema Ritrovato

| | | | | | |
|--------|--------|--|---|---|----------------------------------|
| 1 月 | 5 窓 | | 15:00 ① サイレント短篇集/サタン狂想曲 (計82分) | 19:00 ③ フィリバス (71分) | |
| | 6 窓 | 12:30 ② 異人と霧 (146分) | 16:10 ⑥ 無防備都市 (99分) | | |
| | 7 窓 | 12:30 ⑧ 自転車泥棒 (90分) | 16:10 ⑩ サンビザンガ (98分) | | |
| | 9 窓 | | 15:00 ⑨ ヴィットリオ・デ・セータ作品集 (計118分) | 18:00 ① サイレント短篇集/サタン狂想曲 (計82分) ★上映後トーク(約40分) | |
| | 10 窓 | | 15:00 ⑫ チェチリア・マンジーニ作品集 (計73分) | 19:00 ⑤ ハーレムの殺人 (96分) | |
| | 11 窓 | | 15:00 ③ フィリバス (71分) | 19:00 ⑫ プッシュマン あるナイジェリア人青年の冒険(74分) | |
| | 12 窓 | | 15:00 ⑧ 自転車泥棒 (90分) | 19:00 ⑬ 私は時々ハワイを想う/青の隔たり (計109分) | |
| | 13 窓 | 12:30 ⑦ カルプナー (153分) ★上映後講演(約60分) | 17:00 ⑭ 私は彼女をよく知っていた (116分) ★上映後講演(約60分) | | |
| | 14 窓 | 12:30 ② グランド・ツアー イタリア紀行・短篇集 (計70分) ★上映前(約10分)/上映中解説 | 15:00 ⑨ ヴィットリオ・デ・セータ作品集 (計118分) ★上映後講演(約60分) | | |
| | 16 窓 | | 14:30 ⑮ シシリーの黒い霧 (123分) | 18:00 ② 異人と霧 (146分) | |
| | 17 窓 | | 15:00 ① サイレント短篇集/サタン狂想曲 (計82分) | 19:00 ⑥ 無防備都市 (99分) | |
| | 18 窓 | | 15:00 ⑭ 私は彼女をよく知っていた (116分) | 19:00 ⑩ 猿女 (116分) | |
| | 19 窓 | | 14:30 ⑨ ヴィットリオ・デ・セータ作品集 (計118分) | 18:50 ⑫ サンビザンガ (98分) | |
| | 20 窓 | 13:00 ③ フィリバス (71分) | 16:00 ⑮ シシリーの黒い霧 (123分) | | |
| | 21 窓 | 13:00 ⑬ 時は止まりぬ (87分) | 16:00 ⑩ 猿女 (116分) | | |
| | 23 窓 | | 15:00 ⑤ ハーレムの殺人 (96分) | 19:00 ⑩ 風と共に散る (99分) | |
| | 24 窓 | | 15:00 ⑬ 私は時々ハワイを想う/青の隔たり (計109分) | 19:00 ⑭ セシル・ドキュジス作品集 (計73分) | |
| | 25 窓 | | 15:00 ⑩ 風と共に散る (99分) | 18:30 ⑮ マハゴニー(フィルム#18) (148分) | |
| | 26 窓 | | 15:00 ⑭ 街の中の地獄 (92分) | 19:00 ⑪ 吸血鬼 (78分) | |
| | 27 窓 | 13:00 ⑪ 吸血鬼 (78分) | 16:00 ⑰ サンティアゴへ行こう/ある方法で (計90分) ★上映後トーク(約30分) | | |
| | 28 窓 | 13:00 ⑭ 街の中の地獄 (92分) | 16:00 ⑭ セシル・ドキュジス作品集 (計73分) | | |
| | 30 窓 | | 15:00 ⑦ カルプナー (153分) | 19:00 ④ 狂った一頁 [染色版] ★上映後トーク(約20分) | |
| | 31 窓 | | 15:00 ⑤ ハーレムの殺人 (96分) | 19:00 ⑬ 時は止まりぬ (87分) | |
| | 2 月 | 1 窓 | | 15:00 ⑫ サンビザンガ (98分) | 19:00 ⑬ 私は時々ハワイを想う/青の隔たり (計109分) |
| | | 2 窓 | | 15:00 ⑰ サンティアゴへ行こう/ある方法で (計90分) | 19:00 ⑫ チェチリア・マンジーニ作品集 (計73分) |
| | | 3 窓 | 13:00 ⑮ 【特別上映】ムービー・オージー ★上映後トーク(約30分)/途中休憩あり (282分) | | |
| | | 4 窓 | 12:30 ⑮ マハゴニー(フィルム#18) (148分) | 16:00 ⑫ プッシュマン あるナイジェリア人青年の冒険(74分) | |

■★印の回は講演等のイベントがございます。

■各日11:00に開館します。

▶ チケット購入方法

| | 一般 | 高校・大学生・65歳以上 | 小・中学生・障害者手帳をお持ちの方(付添者1名まで)・キャンパスメンバーズ |
|---------|---------------------------------|--------------|---------------------------------------|
| チケット料金 | 1,300円 | 700円 | 500円 |
| オンライン販売 | 各上映日の3日前正午から各上映回の開映15分前まで ※1 ※2 | | |
| 窓口販売 | 各上映回の開映1時間前から5分前まで若干数販売 | | |

※1 1月5日、6日の上映回については、1月4日の正午から各上映回の開始15分前まで。

※2 特別上映「ムービー・オージー」のチケット入手方法は5頁をご覧ください。

* 電子チケットは、当館HPより公式チケットサイトにてオンライン販売します。

* 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。

* 学生、65歳以上、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。

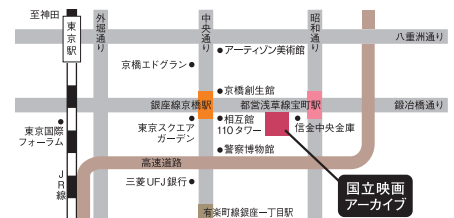
* 未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者等券」をお求めください。

▶ 入場方法

* 開場は開映30分前です。

* チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷紙面でご提示ください。特集名、作品名は表示されませんので、お間違いないようご注意ください。

* 各回の開映後の入場はできません。予告篇はございません。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

* 上映をご覧になるお客様へ: チケットをお持ちのお客様も、開映後の入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
ホームページ: www.nfaj.go.jp

